

City Cast NEWS

Fukushima

～楽しむ、変わる、福島を変える～

第8号

2020年11月25日(水)

発行元：福島県オリンピック・
パラリンピック推進室

はじめよう!

Let's study! City Cast
～英会話入門編～

齋藤：都市ボラ大学の講師お疲れ様でした。

講師としてクラスを開講しようと思った理由はなんですか？

吉田：はじめは、Zoomの勉強のためにオンラインの研修を受講していました。そんな時に講師の募集があり、「英会話だったら自分のスキルを生かして講師ができる!」と思い挑戦しました。もともと都市ボランティアに応募したのも、これまで出来なかったことや、やりたかったことに挑戦して自分自身の「生き方改革」をしたいと考えていたことが大きな理由だったんです。

齋藤：今回の経験を通してボランティア活動に活かしたいことは?

吉田：普段の英会話教室は主にマンツーマンで実施していますが、オンライン講義には64名も参加してくれました。初めての大人数の講義ということもあり、目を配ることが難しかったです。また、他の講師の皆さんとの交流を通して、特別な配慮が必要な方たちへの伝え方の視野が広がったことも大きな収穫でした。その点をボランティア活動に活かしたいです。



▲郡山駅前にて。外国の方にとっては特に、駅でのボランティアによるお出迎えや、困ったときのサポートは嬉しいものですね。

今月号は、日本財団ボランティアサポートセンターの主催により10月にオンラインで実施した「第1回みんなの都市ボラ大学」で講師をされた吉田庸子さん(英会話講師)から、ボランティア活動で役立つ英会話についてお話を伺いました!



▲都市ボラ大学の講師をきっかけに、手話を新しく学び始めたそうです!

齋藤：ボランティア活動では外国の方とふれあう機会がありますが、英会話初心者が押さえておきたいフレーズは?

吉田：相手が言ったことが分からないときは「Excuse me?」や「Sorry?」と語尾を上げて言ってみましょう。そして、「Thank you」と言われたら「You're welcome」でもいいですが、「My pleasure」(お手伝いできたことが私の喜び!)と返す表現がぴったりです。別れ際には「Enjoy your stay in Fukushima!」(福島滞在を楽しんでくださいね!)や、「Have a wonderful day!」(素晴らしい一日を!)と声かけをしたらバッチリですね。ちなみに、私はあえて日本語でも外国の方に声をかけたいと思っています。日本語を勉強してこられる方もいると思うし、日本語でコミュニケーションをとれた経験を良い思い出として持ち帰ってほしいという理由からです。

外国の方が話す英語って、私たちの知っている発音と少し違うと思ったことはありませんか?今回は実際に聞こえる音をカタカナで表記して、発音の練習がしやすいようにしてありますので、ぜひ練習してくださいね!

Lesson① 困っている方に声をかけてみましょう!

CC: City Cast T :Traveler (観光客)

ハロー、 ウェルカム トゥー フクシマ ドゥー ユー ニー サム
CC: Hello, Welcome to Fukushima! Do you need some help?

こんにちは、福島へようこそ! なにかお困りですか?

イエス サン キュー ウェア イツ ザ ニアレス エーティーム
T: Yes, thank you. Where is the nearest ATM?

はい、ありがとう。いちばん近いATMはどこですか?

イツ オヴァー セア
CC: It's over there.

(指さしながら) あちらですよ。

オウ サン キュー ヴェリ マッチ
T: Oh, thank you very much!

ありがとうございます!

マイ プレジャー
CC: My pleasure.
どういたしまして。



Lesson② 禁止されていることを伝えましょう!

イクスキューズ ミー アンフォーチュネトリー ワイ キャント ドゥー ザツ

CC: Excuse me. Unfortunately, we can't do that.

あの、ちょっと。あいにく、それ(やっていること)は禁止なんです。

オウ アイム ソーリイ キャ ニュー ティ カ ピクチャ フォー アス オヴァー
T: Oh, I'm sorry. Can you take a picture for us over there?

すみません。あちらで私達の写真を撮ってもらえますか?

シュア アイド ビー ハッピー トゥ
CC: Sure. I'd be happy to.

もちろん。よろこんで。

オウ サン キュー ヴェリ マッチ
T: Oh, thank you very much!
ありがとうございます!

マイ プレジャー
CC: My pleasure.
どういたしまして。

★吉田さん's point

「We can't do that.」で
禁止表現を柔らかく伝える
ことができます!

例文は、日本財団ボランティアサポートセンターから発行されている「英会話タイムトライアルTOKYO VOLUNTEER 2020特別編」にも掲載されています。冊子をご希望の方はこちらからお申し込みできます。(URL)https://www.volasapo.tokyo/guide/english_timetrial/

担当者のつぶやき

日々の生活の中できっかけを見つけて、何か新しいことにチャレンジすることはとても勇気のいることだと思いますが、とても素晴らしいことですね!私も、最近思いきって新しいことにチャレンジしたことがあるんです!(12月の「福島県City Castオンラインミートアップ!」をお楽しみに…)

皆さんの中にも、何か新しいことをはじめた方がいれば、ぜひ教えてください!